

2010年12月15日発行（隔月刊）



う 羽 化 か

ISSN1880-8646
2010年12月
第 83 号

横 浜 漢 点 字 羽 化 の 会
〒231-0851 横浜市中区山元町2-105 Tel 045-641-1290
発行責任者 代 表 岡 田 健 嗣
編集責任者 木 下 和 久



飾り付けができました

Merry
Christmas

目 次

漢点字の散歩 (22) (岡田健嗣)	1
点字から識字までの距離 (79) (山内 薫)	10
東京漢点字例会報告とわたくしごと (木村多恵子)	12
東京漢点字学習会報告 (菅野良之)	18
訳書紹介『人名字解』	20
ご報告とご案内	21
漢文のページ	23
漢点字講習用テキスト(初級編・第23回)	26
編集後記 (木下和久)	27

漢点字の散歩 (二十二)

岡田 健嗣

漢点字紹介 (五)



お詫び訂正

前回ご紹介した第一基本文字(一マス漢点字)、(36)の「**火**」について、ご説明に不足がありました。

へまた「**火**」は、連火または列火(四つ点)を表します。連火は、火を燃やして煮炊きする形を表して、「火」に由来する部首です。

〈例… **然** **点** **烈**〉
以上の文言と例字を追加します。

4. 漢点字のご紹介

第一基本文字の近似文字

「近似文字」は、基本文字の一つです。「近似」とは、形が似ているという意味で、漢字の要素である形に着目して考えられた漢点字です。漢字の形は、よく似ていてもそれぞれの由来が異なっていたり、あるいは形が似ているところからその意味も近接するものがあり

ます。従って「近似文字」にも、意味的には関わりの薄い文字もあれば、大変近接した文字があります。

「近似文字」は、二マスで表される漢点字です。それには一マス目に「**木**」が置かれて、二マス目に本体の漢点字符号が置かれるものと、一マス目に漢点字符号が置かれて、二マス目に「**木**」の符号が置かれるものがあります。

ここでは第一基本文字に形の似た「近似文字」をご紹介します。

木の近似文字

(1) **末** ミ いまだ

この文字は木の先端、梢を表して、「木」の上部に点を加えた形の文字です。漢点字では「木」の形を残して二マス目に「**木**」を加えて、「**木**」で表します。部首として他の文字を構成します。

例… **味** **魅** **味**

(2) **本** ホン もと

この文字は、木の根元を表して、「木」の下部に点を加えた形の文字です。漢点字では「木」の形の後ろに「**木**」を加えて「**木**」で表されます。

例… **体** **鉢**

田の近似文字

(3) 田 ユウ ユ よし

この文字の形は「田」の縦の線が上に突き出た形です。この文字の形は「田」とは異なっており、液体を入れる容器を象っています。漢点字では「田」の形に「田」を加えて、「田」で表されます。

例… 田 宙 抽 笛 油 軸

(4) 曲 キョク まがる まげる

これは「由」の縦の線を二本にした形の文字です。「田」の文字には由来しません。竹を削って曲げて作った籠を象っています。漢点字では「田」に「田」を加えて「田」で表されます。

目の近似文字

(5) 真 シン まこと

この文字は「目」の形を構成要素としていますが、「目」には由来しません。漢点字では一マス目に「目」を置いて「目」で表されます。

例… 慎 鎮

心の近似文字

(6) 必 ヒツ かならず

この文字は「心」の近似文字です。「心」に右斜め

の線を重ねた形の文字ですが、「心」とは異なった文字です。漢点字では、一マス目に「心」を置き、二マス目に「心」を置いたかたちです。

例… 泌 秘 密 蜜

(7) 正 セイ ショウ ただし

この文字は「止」の上に一を置いた形の文字です。漢点字では「止」で表しますが、ご覧のように近似文字の原則とは異なっています。例… 政 証 征 症

② 漢数字およびその近似文字

漢数字の漢数字は、点字の数字の表記に準拠しています。

点字の数字は、ルイ・ブライユの点字表の1列目(上四つの点の組み合わせ)の10個の点字符号に「数字」と呼ばれる点字符号「点」を前置することで表されます。

1 2 3 4 5 6
7 8 9 0

たとえば、「1, 2 3 4, 5 6 7, 8 9 0」という数字の表記は、「点1, 点2 点3 点4, 点5 点6 点7, 点8 点9 点0」となります。

漢数字にも同様の考え方を採用しました。数符に当たる「漢数符」は「𠄎」です。この符号が前置された漢点字は、漢数字です。そして漢数字の本体の点字符号には、終点である「𠄎」が加えられます。

(1)	𠄎	一	イチ	ひとつ
(2)	𠄎	二	ニ	ふたつ
(3)	𠄎	三	サン	みつ
(4)	𠄎	四	シ	よつ
(5)	𠄎	五	ゴ	いつつ
(6)	𠄎	六	ロク	むっつ
(7)	𠄎	七	しち	ななつ
(8)	𠄎	八	ハチ	やっつ
(9)	𠄎	九	キュウ	ここのつ
(10)	𠄎	〇	ゼロ	

* (10) の「𠄎〇」は、本来の漢数字ではありません。縦書きの文章では住所や電話番号などを、しばしば漢数字で算用数字と同様に表記されます。

例… 電話番号

東京都庁代表… 〇三・五三二一・一一一一

↓ 𠄎 三 五 三 二 一 一 一 一 一

横浜市役所代表… 〇四五・六七一・二二二一

↓ 𠄎 四 五 六 七 一 二 二 二 一

* 漢数字の「十」は、第一基本文字の「𠄎」です。漢数符は前置されません。

(11) 𠄎 百 ヒヤク もも

「𠄎𠄎」は、漢数字の「百」を表す漢点字符号です。

(12) 𠄎 千 セン ち

「𠄎𠄎」は、「千」を表す漢点字符号です。

例… 𠄎 舌 𠄎 話 𠄎 活

(13) 𠄎 万 マン よろず

「𠄎𠄎」は、「万」を表す漢点字符号です。この文字は、漢数字としてのみならず、広く用いられます。

(14) 𠄎 億 オク

「𠄎𠄎」は、「億」を表す漢点字符号です。この文字は六書では形声文字ですが、漢点字では基本文字としました。

(15) 𠄎 兆 チョウ きざし きざす

「𠄎𠄎」は、「兆」を表す漢点字符号です。この文字は漢数字としてのみならず、広く用いられます。

例… 𠄎 跳 𠄎 逃 𠄎 桃

近似文字

(16) 𠄎 丸 ガン まる まるい

この文字は「九」に点を加えた形です。そこで「九」の近似文字としました。一マス目に「𠄎」を置き、二マス目に本体の「九」を置きました。

(17) 𠄎 意 イ ころ

この文字は「億」の近似文字です。文字の成り立ちからしますと、「億」は「意」に人偏を加えた形声文字ですので、「意」を基本文字としなければなりません。が、「億」を漢数字としましたので、「意」をその近似文字としました。一マス目に「𠄎」を置いて、二マス目に「億」の本体「億」を置きました。

例… 𠄎 憶 𠄎 臆

(18) 𠄎 元 ガン ゲン もと

この文字は「兆」の近似文字です。「兆」は「儿」(ひとあし)に似た形ですので、「儿」の上に漢数字の二が置かれた形の「元」を、近似文字としました。

例… 𠄎 完 𠄎 院 𠄎 冠

③ 複合文字 (1)

複合文字と字式

ここまで第一基本文字と漢数字の二つの基本文字をご紹介してきました。この基本文字が二つ・三つ組み合わせられて、さらに別の文字が構成されます。これを

「複合文字」と呼びます。

ところで基本文字とされた文字にも、幾つかの要素の組み合わせでできた文字が含まれています。つまりこの基本文字は、六書でいう「象形文字」や「指事文字」と全て重なるわけではありません。中には「会意文字」や「形声文字」に分けられる文字も含まれています。

これからこれまでご紹介した基本文字で構成される「複合文字」をご紹介しますが、それに先だって、「字式」と呼ばれる表現をご紹介します。

漢点字は、一マス・二マス・三マスの点字符号で漢字の形を表現する点字の漢字体系です。ところが漢字の構成要素は重層的で、従って漢点字の符号から漢字の構成を読み取ることは、極めて困難と言わざるを得ません。そこで漢点字の創案者の川上泰一先生は、加減乗除や括弧の類を使用して、漢字の構成要素の配置を数式的要領で表現することを考えつかれました。

それが「字式」です。

ここではこれまでご紹介した基本文字のうちで、二つ以上の構成要素から成る文字の字式をご覧に入れて、この後の「複合文字」も、字式を示しながらご紹介いたします。

漢字の構成は、左に置かれるものを「偏」、右に置か

れるものを「旁」、上に置かれるものを「冠」、下に置かれるものを「脚」と呼びます。さらに外側を覆うものを「構え」、左斜め下に降りるものを「垂れ」、左側に位置しながら文字の下に流れるものを「繞」と呼びます。

字式ではその配置を、「+」で左右の並びを、「/」で上下の並びを、「>」で「構え」や「垂れ」の中に囲まれることを表します。また「・」は、上下に並んで、しかもくつついた関係を表します。

なお全ての部首に名前がついているわけではありませんので、字式の表記にはカナ文字や括弧の説明を付加します。字式内の括弧は、「」を使用します。また「ツワ冠」は「学」の冠を、「やね」は三角の屋根を、「」は連火（四つ点）を表します。

以下、第一基本文字と漢数字に現れた、複数要素の漢字の字式です。

- 系 || (点)・糸
- 家 || ウ冠 / 冢 (いのこ)
- 宿 || ウ冠 / 佰
- 学 || ツワ冠 / 子
- 語 || 言偏 + 吾
- 吾 || 五 / 口
- 佰 || 人偏 + 百

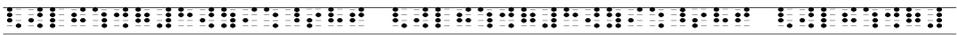
- 都 || 者 + おおざと
- 食 || やね / 良
- 仁 || 人偏 + 二
- 私 || 禾偏 (ノ木偏) + ム
- 進 || しんによウ + 隹 (ふるとり)
- 石 || 厂 (がんだれ) > 口
- 病 || 病垂れ (やまいだれ) > 丙
- 店 || 广 (まだれ) > 占
- 占 || ト・口
- 分 || 八頭 (はちがしら) / 刀
- 性 || 立心偏 + 生
- 圀 || 口 (くにがまえ) > 井
- 正 || 一・止
- 億 || 人偏 + 意
- 意 || 音 / 心
- 音 || 立 / 日

以上が、複数の要素を持つ、第一基本文字と漢数字の字式です。

複合文字 (1)

ウ冠を含む文字

- (1)  安 アン やすい やすらか



ウ冠 / 女

この漢点字符号は、「**ウ**」でウ冠を、「**ニ**」で女を表します。ウ冠と女を、横に配置しました。

熟語… **ウ** **ニ** (安心) **ウ** **ニ** 易 (安易) **ウ** **ニ** 価 (安価) **ウ** **ニ** (不安)

(2) **ウ** **ニ** 案 アン
安 / 木

この漢点字符号は、「**ウ**」で「安」を、「**ニ**」で「木」を表します。ニマスに収めるために、ウ冠の符号を省きました。

熟語… **ウ** **ニ** 外 (案外) **ウ** **ニ** 内 (案内)
ウ **ニ** (思案) **ウ** **ニ** 山 **ウ** **ニ** (案山子)

(3) **ウ** **ニ** 完 カン
ウ冠 / 元 まつとうする

この漢点字符号は、「**ウ**」でウ冠を、「**ニ**」で元を表します。

熟語… **ウ** **ニ** (完走) **ウ** **ニ** 成 (完成)

(4) **ウ** **ニ** 院 イン
こざと偏 + 完

この漢点字符号は、「**ウ**」でこざと偏を、「**ニ**」で完を表します。ウ冠を省略しました。

熟語… **ウ** **ニ** (学院) **ウ** **ニ** (病院)

(5) **ウ** **ニ** 字 ジ
ウ冠 / 子 あざ

この漢点字符号は、「**ウ**」でウ冠を、「**ニ**」で子を表します。

熟語… **ウ** **ニ** 文 **ウ** **ニ** (文字) **ウ** **ニ** 字引 (字引)

(6) **ウ** **ニ** 宗 シュウ ソウ
ウ冠 / 示 むね

この漢点字符号は、「**ウ**」でウ冠を、「**ニ**」で示を表します。

熟語… **ウ** **ニ** 教 (宗教) **ウ** **ニ** 派 (宗派)
(宗門)

(7) **ウ** **ニ** 宝 ホウ
ウ冠 / 玉 たから

この漢点字符号は、「**ウ**」でウ冠を、「**ニ**」で玉を表します。

熟語… **ウ** **ニ** 物 (宝物) **ウ** **ニ** (七宝)

木を含む文字
(8) **ウ** **ニ** 林 リン
木偏 + 木 はやし

この漢点字符号は、木を表す「**ウ**」をニマスに置

き、始点と終点を付けた形です。木がまばらに生えている様子を象っています。

熟語… (林野) (山林)

(9) (森林)

木 / 林 シン もり

この漢点文字符号は、「𣎵」で木を、「𣎵」で数字の3、3本の木を表しています。

熟語… (森林) (森閑)

(10) 木偏 + 目 ソウ ショウ あい

この漢点文字符号は、「𣎵」で木偏を、「𣎵」で目を表します。

熟語… (相談) (相手)

(11) 相 / 心 ソウ おもう

この漢点文字符号は、「𣎵」で相を、「𣎵」で心を表します。目を省略しました。

熟語… (想念) (想像)

(12) (思想)

人偏 + 木 キュウ やすむ

この漢点文字符号は、「𣎵」で人偏を、「𣎵」で木を表します。

熟語… (休日) (休憩)

(13) (連休)

来 ライ くる きたる

(字式は省略)

この漢点文字符号は、来の旧字体である來に従っています。「𣎵」は木を、「𣎵」は人の形を表します。ただしこの人の形は人を意味してはおりません。実った麦の穂を象っています。漢点字では形の人を取って符号にしました。

熟語… (来訪) (来客)

到 (到来)

*「来、來」の字式は、やや複雑になりますので、ここでは割愛しました。

禾 (ノ木を含む文字)

(14) 禾 (ノ木) / 女 イ ゆだねる

この漢点文字符号は、「𣎵」で禾を、「𣎵」で女を表します。

熟語… (委員)

(15) 禾 (ノ木) / 子 すえ

この漢点字符号は、「**禾**」で禾を、「**子**」で子を表します。

熟語… (季語) 節 (季節)

(16) 禾 (ノ木) 偏 + 口 やわらぐ

この漢点字符号は、「**禾**」で禾を、「**口**」で口を表します。

熟語… 解 (和解) 平 (平和)

(17) 禾 (ノ木) 偏 + 必 ひめる

この漢点字符号は、「**禾**」で禾を、「**必**」で必を表します。

熟語… 密 (秘密) 神 (神秘)

力を含む文字

(18) 力 + 口 加 カ くわえる

この漢点字符号は、「**力**」で力を、「**口**」で口を表します。

熟語… 算 (加算) 参 (参加)

(19) 加 / 貝 ガ

この漢点字符号は、「**加**」で加を、「**貝**」で貝を表します。

熟語… 年 (年賀) 祝 (祝賀)

(20) 十 + 力 / “力+力” キョウ カナウ

この漢点字符号は、「**十**」で十を、「**力**」で「力+力」を表します。力をつだけ用いました。

熟語… 協 (協力) 同 (協同)

儿 (ひとあし、元のあし) を含む文字

(21) 口・儿 (ひとあし) ケイ キョウ あに

この漢点字符号は、「**口**」で口を、「**儿**」で儿 (ひとあし) を表します。

熟語… 弟 (兄弟) 大 (大兄)

(22) 示 偏 + 兄 シュク いわう ほぐ

この漢点字符号は、「**示**」で示偏を、「**兄**」で兄を表します。口を省略しました。

熟語… 祝 (祝賀) 辞 (祝辞)

(23) 況 キョウ いわんや

さんずい + 兄

この漢点字符号は、「」でさんずいを、「」で兄を表します。口を省略しました。

熟語… 情 (情况)

(24) 見 ケン みる

目・儿 (ひとあし)

この漢点字符号は、「」で目を、「」で儿 (ひとあし) を表します。

熟語…  は  に (百聞は一見に)

(25) 視 シ みる

示偏 + 見

この漢点字符号は、「」で示偏を、「」で見を表します。儿 (ひとあし) を省略しました。

熟語…  (視点) 凝 (凝視)

田を含む文字

(26) 男 ダン ナン おとこ

田 / 力

この漢点字符号は、「」で田を、「」で力を表します。田畑を耕す男性を意味します。

熟語…  (男性)  (男女)

(27) 畑 はた はたけ

火偏 + 田

この漢点字符号は、「」で火を、「」で田を表します。水田に対して畑地を意味する国字です。

熟語…  (田畑)  地 (畑地)

(28) 糸偏 + 田 サイ ほそい こまかい

糸偏 + 田

この漢点字符号は、「」で糸偏を、「」で田を表します。この文字の田の形は、新生児の頭蓋骨の泉門を象っています。

熟語…  部 (細部) 詳 (詳細)

(29) 思 シ おもう

田 / 心

この漢点字符号は、「」で田を、「」で心を表します。この文字の田の形も、新生児の頭蓋骨の泉門を象っています。

熟語…  (思想) 沈 (沈思)

(30) 胃 イ

田 / 肉月

この漢点字符号は、「」で田を、「」で肉月を表します。この文字の田の形は、食べたものが充満した胃袋を象っています。

熟語…  腸 (胃腸)  袋 (胃袋)

点字から識字までの距離（七九）

盲学校・ろう学校生のインターンシップ(三)

山内 薫（墨田区立あずま図書館）

午後は毎月第一木曜日の午後に行っている貸出と絵本・紙芝居・歌を行うために特別養護老人ホームの東京清風園に向かった。いつもは自転車で行くのだが、その日は三人でおよそ三十分の道のりを途中錦糸町の駅前を通って様々なお店などを紹介しながら歩いて行った。東京清風園で本の出張貸出をはじめたのは一九九七年からで、初めの頃はよく本を読まれるお年寄りが十名近くおり、様々な本が良く借りられていた。しかし、そうした利用者者が亡くなり、その後に入所してくる方は介護度の高い方が多く、次第に本を読む方が少なくなってきた。そこで二〇〇二年



Mさんの手品

から本の貸出だけではなく、紙芝居や歌を交えた催し物を行うようになった。場所は二階のデイサービスのフロアを使い、デイサービスに来ている方と入所者の方は二階に降りてきて頂いて四十分程の催しを行う。当日の催し物は始めに紙芝居の「どくのはいったかめ」、次に同じく紙芝居の「あっぷっぷう」、もう一つ紙芝居を上演した後、一九五〇年代の街頭紙芝居「V(ガンマ) 彗星団」を上演した。いつもは紙芝居だけではなく、絵本やパネルシアター、エプロンシアターなどがその間に入るのだが、その日はたまたま全てが紙芝居という構成になった。その後は恒例の手品が五分程行われた。手品を演じて下さるのは、Mさんという川口にお住まいの八〇歳近い男性で、江東区を中心に落語などを行っている楽笑会というグループに所属している方だ。この楽笑会が年に二回開いている公演で客演したことのある府中



紙芝居を見るKさんとSさん

市立図書館に勤務する女性講談師のIさんからMさんを紹介して頂き、二〇〇四年から毎月清風園で手品をして下さるようになった。Mさんの手品はとても好評で清風園の皆さんもとでも楽しみにして下さっている。その日はまず短いロープを使った手品に始まり、次は大きなトランプの手品、続いて今度は長いロープの手品、そしてリングの手品で締めくくられた。Mさんはとてもユーモアのある語り口で話しをしながら手品をなさるので驚きと共に笑いが絶えずお年寄りも心から手品を楽しまれている。

さてここまででおよそ四〇分の時間が経過し、いよいよ最後の歌の時間になった。まずはじめに清風園の皆さんにKさんを紹介し、Kさんの伴奏で「うみ」を歌った。続けてTさんとのピアノ連弾で「憧れのハワイ航路」、そして最後は先月から始まった「鉄道唱歌」の二回目で、この日は七番の鎌倉八幡宮から横須賀を経て一番の大磯までを歌った。この



憧れのハワイ航路の練習

「鉄道唱歌」は十一ヶ月かけて東海道の終点神戸まで歌い継ぐ予定になっている。

歌の時間が終わって再度皆さんにKさんを紹介すると満場の拍手がKさんに送られた。その後恒例の紙芝居をやって頂いた演者と手品師のMさんを紹介し、この日の全てのプログラムを無事終了した。

帰りも再び三人で歩いて緑図書館まで歩いて帰ったが、Kさんと一緒に歩く立教大学のSさんのガイドぶりも板に付いてきた。

図書館に帰ったあと歓談しながらKさんはお昼に習った独楽の折り紙を要領よく折りはじめた。

当日のKさんの日誌には次のように記されていた。「今日一日は昨日と違って、大分慣れ、不安と緊張はピアノ以外あまり感じませんでした。

小さな子供のためのお話会ではピアノの伴奏は緊張しましたが、緊張しすぎない程度でよかったです。ですが、伴奏の途中で、間奏の部分や最後の部分を弾き忘れてしまったことが、とても悔しく感じました。

清風園での伴奏では、連弾という滅多にできない経験ができました。が、憧れのハワイ航路を最後まで覚えられなかったことを悔しく思います。

今日は大勢の方とお会いし、中々名前を覚えることができなかったので、明日大勢の方とお会いしても落ち着いてより沢山の名前を覚えたいと思つています。」

「東京漢点字羽化の会」例会報告と

わたくしごと

木村 多恵子



第59回例会 2010年10月13日(水) 13:30
15:30、ヒューマンプラザ第1会議室

この秋に新たに漢点字入力ボランティアの募集を計画したが、各新聞社が紙面づくりを大幅に変更し、募集記事を掲載する紙面が減らされたようで、本会の依頼には応えていただけなかった。従ってこの秋はこれを断念して、新たに来春2月開催を目指して、公募を掲載できるメディアを探すことにした。

なお、講習会では、最初から、QXのソフトを使っていたように説明することにした。

10月15日に会員のお三方が、横浜の羽化の皆様にご挨拶の点字印刷の操作方法を教えてくださいに行ってください。点字印刷も時間が許す限り何方でもできるように順次習得していただくことも話し合った。

朝日新聞毎週土曜の朝刊連載の、高橋睦郎(むつお)著、『花をひろう』を点字印刷できるように、岡田さんが最終チェックしてくださった後、木村も読ませていただいたき、各週のアイルをつなげる。

北原白秋の歌集のマニュアル作りも完成した。これ

で新しいボランティアの皆様はスムーズにはじめていただけのように、準備が整えられた。

次に寺山修司の歌集を入力していただくことにしたが、これは文字が非常に小さいので、拡大コピーしていただく。

これまでに、入力はできているが、校正が出来上がっていないものを、順次完成させてゆきたい。

なお、「横浜漢点字羽化の会」では、滞りなく全三回の講習会が行われた。

今回東京から点字印刷のことで、横浜の皆様にお世話になり、ありがとうございます。これを機会にもっと交流が深まるとよいと思えました。横浜の皆様よろしくお願ひ致します。

第60回例会 2010年11月10日(水) 13:30

15:30、ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール

「羽化82号」をお配りできた。

第2次「パソコン入力によるボランティア講習会」の日取りを決めた。

第1日目、2011年2月9日(水)、(準備のため

午前10時から、会員は集合していただきたい)

第2日目、2月23日(水)、

第3日目、3月9日(水)

何れも13:30~15:30

場所…ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール

募集要項を掲載するために、各新聞に依頼するとともに、他にメディアを探していただいたもの他に、各地区報にも当たって見ることにしたが、それぞれの地域の行政が関わっている内容に限ってのみ、ボランティア募集を区報に掲載するので、この方法は諦めた。

「東京ボランティアア市民活動センター」や、「NHKボランティアネット」にも投稿することにし、早速行動に移した。現在ホームページに掲載していただいている。

朝日、読売、毎日の各新聞に、募集要項を投稿していただいた。

朝日新聞連載の「花をひろう」(高橋睦郎著)の細かい打ち合わせをしたが、意外にこれに時間が取られた。

「花をひろう」の点字印刷について…

2010年12月15日(水、午後)、2011年1月19日(水、午後)、2月と3月はまだ未定です。

2011年度は、毎月第三水曜の午後を、東京羽化も、横浜市社協ボランティアセンターの点字製作室を、来年度年間予約登録を、岡田さんがしてくださいました。

皆様ますますお忙しくなりますが、どうぞよろしくお願いたします。

* 予告

12月の例会(第61回)、12月8日(水)、13…30

15…30、ヒューマンプラザ7階第1会議室
第44回学習会、12月18日(第3土曜) 18…30

20…30、ヒューマンプラザ7階第1会議室

2011年1月の例会(第62回) 1月12日13…30

15…30、ヒューマンプラザ7階第1会議室
第45回学習会、1月22日(第4土曜) 18…30

20…30、ヒューマンプラザ7階第1会議室
2月の例会(講習会1日目を含む、第63回例会)

2月9日(水)、13…30

15…30
ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール

第46回学習会、2月19日(第3土曜) 18…30

20…30、ヒューマンプラザ7階第1会議室

講習会2日目、2月23日(水) 13…30

15…30
ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール

3月の例会、(講習会3日目を含む、例会第64回)、3月9日(水) 13…30

15…30、ヒューマンプラザ7階竹芝小ホール、

第47回学習会、3月19日、18…30

20…30
ヒューマンプラザ7階第1会議室

わたくしごと

わたしには兄弟が4人いる。兄3人と姉である。5組の夫婦のうち、長兄が25年前に、わたしの夫が1昨年前に逝き、残る3組の夫婦と長兄の妻を含めて8人は、ほとんど年中行事のように兄弟旅行を続けてい

る。

もともと、わたしの夫は体が弱かったので、この旅行には数えるほどしか参加していない。みんなは一疲れたら車椅子を借りればいいし、もちろんおしてあげるから、一緒に行こう」とまで誘ってくれたのだが、夫はテレやで、そこまで皆さんに迷惑をかけるのを拒んでいた。それだけに、彼が亡くなった年は、喪に服す時までぎょうぎょうしくはないけれど、旅行は止めた。そして彼のことを想い、また、子供のいないわたしのために、皆がたびたび我が家に集まったり、個別に訊ねてくれたりして、互いに会う機会は多かった。兄弟旅行を始めたきっかけは、長兄の13回忌の法事である。お経を上げていただき、墓参をしたその足で、兄弟だけでなく、それぞれの子供や孫も含めて、かなり多人数の、長兄に連なる親戚が、揃って熱海へ行ったのが最初である。

この旅行がとても楽しかったので、これからは兄弟だけで遠くでなく、せめて一泊二日の気軽な旅をしようということになり、もう14、5年、春であったり、秋であったり、季節はまちまちながら、たびたび小旅行を続けてきた。

8人というのは、電車の指定席を取るにも横並びのボックス席二列を取るとまことに都合がよい。

まずどこへ行くか、8人の日程を合わせるところから当番幹事の仕事になる。もうみんな若くはないの

で、あまり遠くへは行けないし、なんといっても一泊二日であるから、関東地区に絞られる。幸い、東京、横浜、千葉から集まるので、集合地は決めやすい。今年には群馬県の水の上（みなかみ）。晴天ならば、天神大良と決まった。

上野で集合し、誰が一番早く来たかというところからワイワイと楽しみははじまる。昼食は車内で済ませることにして、上野駅でお弁当を買った。

JR上野から、水上三号に乗車。水上駅まで2時間24分。

上天氣に恵まれ、車窓を眺めながら、姉たちが「紅葉した木も、まだこれからという木も、お日様に当たって綺麗だ」、「鳥の羽根のような雲が飛んでいる」、「あの子の柿が綺麗だ」、「布団を干している家も見える」などというのを聞くと、訳もなくのんびりと穏やかな気分になり気持ちがよい。やはり地上を走る電車はいい。

今日は早めにホテルへ入ってゆっくりお風呂と食事とおしゃべりをすることにした。

朝早く目覚める。今日も晴天に恵まれたので迷うことなくホテルのバスで、水上駅まで送っていただいで、天神大良へ行く。

水上駅から上毛バスで土合口（どあいぐち）駅まで約25分。わたしの後ろの席に乗り合わせたカップルが盛んに紅葉の美しさに魅せられて感嘆している。こちら

らもその声に刺激されて、想像できる限りの紅葉の色合いを思い浮かべる。一枚の葉っぱなのに、日の当たり加減で、紅は紅の、黄色は黄色の濃淡の紅葉。それが山全体に広がっているのだから、やっぱりわたしの想いをはるかに越えた美しさなのだろう。それだけにこんなふうには素直に感動している声を聞いているのはうれしい。

土合口の駅に着いた。もうここは標高547メートルの高さだ。

そこからロープウェイ「ふにてる」に乗って約7分。とはいももの、丁度今乗り合わせてきたバスのお客様が一杯で、ロープウェイに乗るのに結構な時間がかかった。わたしたちは乗り込み口まで続く列の最後に並んだ。

ロープウェイに乗り込むには、このゴンドラがゆっくりながら動き続けているので、まるでエスカレーターに乗り込むような感じである。ゴンドラはもちろん山を一望できるようにガラス貼りで、どの位置から山容を楽しめるようになっていて。ときどきガクガクガクという感じが足から伝わってくるが、多分その度にゴンドラの高さが上がっているのだろう。乗客の「至仏山（しぶつさん）が見える」「あれはなんていう山？」などという声が聞こえてくる。7分はすぐ経ってしまい、ゴンドラから降りるのも、エスカレーターから降りる要領で降りると、もう既に体だけが前の

めりに先へ行きそうになる。この天神大良駅は標高1319メートルの地点だ。

少し歩いて今度はペアリフトに乗ろうか？という段になって、リフトは怖いから乗らない、という吊り橋恐怖症のいつもの二人。そこでリフトに添っているんだらかな山道を歩いて登ろう、行ける所まで歩こうという意見がまとまり、ゆっくり歩き始めた。最初は最近降った雪の溶け水が流れて、いるので、滑らないように、流れる水をよけたり、またいだりして歩いた。

「ああ、ロープウェイから降りたところに長靴が一杯並んでいて、（どうぞご自由にお使いください）」って書いてあったのはこういうことなのね」と姉が言った。

リフトに沿った山道は、もともと初心者用のゲレンデなので、傾斜は緩やかだ。なるほど、石は無く、草が生えていたり、小枝が程よく土を固めていて、足運びはスムーズだ。そう言えば、ゲレンデ作りは石ころを取り除くところからはじまると聞いたことがある。

普通の山道は形も大きさも不規則な石が多い。神社のようなどころは階段が一杯だ。石や階段は、いやでも決められたその高さに合わせて足を上げなければならぬ。けれども、少し急ではあっても坂ならば、自分の歩幅に合わせて動けるので、体への負担は少ない。

どのくらい登っただろうか。道がだんだん急坂になる少し手前で、一旦休憩しようということになり、地

面が乾いていて、真つ平らではなく、休むのに楽な坂を探し、敷物を敷いた。座るもの、立ったままのもの、それぞれチョコレートを食べ、お茶を飲んだ。

この先は急坂になるので、そのままここでのんびりするものと、もう少し登ろうという二つに分かれた。わたしは兄夫婦と姉と登り組。水上の駅のおみやげ屋さんに預けてきた荷物以外の小荷物を、休憩するグループに預けて更に身軽になって登りだした。

しつかりした白杖は、そのまま登山杖になった。不思議なことに、全山紅葉するというのだから木は一杯あるだろうに、小鳥の声はひとつも聞こえなかった。もう真昼の真つ最中になっているからだろうか？それとも鳥たちは冬支度をはじめているのだろうか？そういうえば軽井沢で山を登っていたとき、登りはじめは、確かに鳥の声が聞こえ、登るに連れてその声は足下から聞こえ、登れば登るほどさえずりは聞こえなくなつた。そして、下つて来たとき、だんだん鳥の声が聞こえだしたので、わたしは「もう山は終わりですね」といったことを思い出した。これはわたしが鳥の生態をまったく知らないから不思議がるのだろうか。

兄は先頭を切つて少しずつ先に登って行く。ときどき「ここまで来ると、なにに山が見えるぞ」とか、「ここは平らで、少し休めるぞ」などと、一度に山頂を目指さず、少しずつ登っては「ここは綺麗だ、眺めがいい」というように、いつの間にか登らせてくれ

る。「おい、もうリフトの終点だぞ」の合図にわたしたち三人は「わあー」と歓声を上げる。リフトの終点天神峠駅は1502メートルの地点だ。

兄の待つところまで行くと、「上に神社と展望台があるぞ」という。またわたしたちは登る。菅原道真を祀った神社が、なぜか分らないが三つも並んでいる。神社参拝用の清めの水があるので、少しだけお水を飲んでから、展望台に登る。

展望台は360度の大パノラマだといい、あれは至仏山、これが笠ガ岳と、谷川岳連峰を望み見て、更にもう少し上にあずま屋があり、そこからは富士山が眺められるというのでまたも登って行ったが、あいにく今日は見えなかったようだ。

結局リフトの終点天神峠よりさらに登って恐らく1520メートルくらい地点に立ったのだと思う。

中腹で待っている4人のところまでやや急ぎ足で降りて行った。ただ急坂なのでやたらには急げない。登りのときより杖が有効に働いた。4人が待っているとこるまで戻ると、「もう少し降りてロープウェイの駅へ行けば水上駅行きのバスに丁度乗れるだろう」と言う。なんてすごい！バスの時間は調べてあったようだが、無駄なく行動できた。

お昼のご飯は天神大良の駅に、それこそ眺めのいいレストランがあるが、これはお値段も高そうなので水上まで降りて、帰りの電車の時間までゆっくり使つて

食べることにした。

ロープウェイの駅へ着くと姉が、さつき話していた長靴の並べられたところを見せてくれた。大きさも3、4種類ありそうだ。帰りは待たずにロープウェイに乗り込めた。土合口からのバスも順調だ。わたしは知らぬ間に疲れたのかバスの中では眠ってしまった。

昼食は水上駅で荷物を預かっていただいたお店の並びにある「おつきりこみうどん」といったか、お野菜たっぷり鍋うどんをいただいた。熱々で産地特産のこんにゃくやお芋、ごぼう、甘い白菜がとても美味しかった。お出しは挽肉で薄味がわたしたちの好みにあった。このお店は古い土蔵を利用して使っており、わたしたちは丁度開いたお二階を使わせていただいた。おもしろいことに、洋服やバッグ、アートフラワーなどいろいろなもの商品として並べられていた。カラオケの用意もあるという。ここは地元の人たちも寄り合うのだろうか？おうどんができるまでこれらを見ながら飽きずに待っていた。

帰りの電車の時刻にはまだ時間があるので、利根川沿いの遊歩道を、川を下る形に散策してから、預かっていただいた荷物を受け取りながら、おみやげを買ってさらに荷物を増やしなごらも、後は電車で上野へ。わたしはそこからタクシーで我が家へ直行。兄弟たちに、無事に帰り着いた報告とお礼のメールや電話をし、持って行った衣類などを洗濯し終わると、わたし

の旅は終わる。

最後に、兄が用意してくれたパンフレットから、谷川岳天神大良ロープウェイ、通称「フニテル」についての解説を要約させていただくと、複式単線自動循環式ゴンドラで、厳冬期にも、強い風にも安全に輸送できるよう設計された、バリアフリー、段差無し、車椅子でも安全という、フランスで開発されたもので、フランス語の「フニキュレー（鋼索鉄道）」と、「テレフリーク（架空索道）」の造語だという。

天神尾根をウォーキングすると、冬はパウダースノー、春から夏は高山植物、秋は紅葉と、季節を問わず楽しめるという。土合口には駐車場もあるので、お年を召した方もロープウェイに乗り、天神大良レストラんで谷川岳連邦をゆったりながめながらのお食事も勧めている。

わたしは花が好きなので、触るチャンスはなかったが、同じパンフレットから花の名前を教えてもらった。

なによりも1500メートルのうち、最後の約20メートルを自分の足で登れたことがとてもうれしく爽快であった。大自然に抱かれるというのはなんと気持ちのよいことだろう。

2010年11月20日 土曜

東京漢点字 学習会報告

東京漢点字羽化の会 菅野良之

平成22年度 第6回 (第42回) 報告

1 日時 平成22年10月23日 (土)

18時30分～20時30分

2 場所 ヒューマンプラザ7階 第1会議室

3 出席者 (省略)

4 使用教材 「漢点字講習用テキスト 初級編

第四回 (全十回) 漢点字編、墨字編

5 学習会内容

連絡事項

・漢点字作成ボランティア募集は新聞掲載未掲載のため後日計画する。

・『うか 10月号』配布

前回の復習

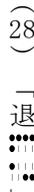
5 複合文字 (2)

2・第1基本文字と比較文字で

構成される文字 (2)

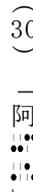
※「良」 (4・5の点とヤ)「四つ」、「良」(3の点とヤ)「六つをパーツとして含む文字。

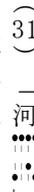
「良」は品質の良い選ばれたもの、「良」は邪気を防ぐよう番をする、じつと見るという意味を持つ。

(28) 「退」 しんによう (ヒ) と良 (ヤ) で表す。

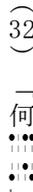
(29) 「既」 良と4・6の点で表わす。

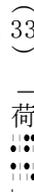
※ 「可」 (4・5の点) とカ」をパーツとして含む文字3つ。

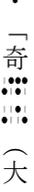
(30) 「阿」 こごと偏(サ)と可(カ)で表す。

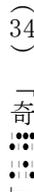
(31) 「河」 さんずい(三)と可(カ)で表す。

・ 「何」 (ナとカ) と何をパーツとして含む文字一つ。

(32) 「何」 人偏(ナ)と可(カ)で表す。

(33) 「荷」 草冠(ク)と何(ナ)で表す。

・ 「奇」 (大・ケと可・カ) と奇をパーツとして含む文字。

(34) 「奇」 大(ケ)と可(カ)で表す。

(以上、かな点字の説明を省略しました。

詳細は前号をご参照下さい)

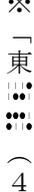
今回の学習

(35) 「寄」 ウ冠(ウ・1・4の点)と奇

(カ・1・6の点) で表す。字式はウ冠/奇。音読み
のキは漢・呉音。訓読みに「より」。ウ冠は屋根を意味する。熟語に「寄進」「寄贈」「寄生」「寄席」

「寄木」「年寄り」「駆け寄る」「寄り合い」「最寄」

「立ち寄り」、地名に「名寄」など。

※ 「東」 (4・5の点とヒ・1・2・3・6の

点)「をパーツとして含む文字1つ。

(36) 「練」 糸偏(イ・1・2の点)と東(ヒ・1・2・3・6の点)で表わす。字式は糸偏+東。音読みのレンは漢・呉音。熟語に「未練」「老練」「修練」「手練手管」「練り直す」「練り歩く」、地名に「練馬」など。

・ 傍の部分「東」に似た文字「東」(カン、ケン、えらぶ)を用いる文字がある。「棟(トウ、むね)と棟(レン、おうち)」といったように練の音読みレンは「東」からきている。

※「西」 4・6の点とニ(1・2・3の点)「をパーツとして含む文字4つ。

(37) 「煙」 火偏(3・4・5・6の点)と西(ニ・1・2・3の点)で表す。字式は「火偏+西」土。音読みのエンは漢・呉音。熟語に「愛煙」「紫煙」「禁煙」「煙管」「狼煙」「発煙」「噴煙」「湯煙」「煙火」「煙霧」など。

・ 字式の※は前置の字に似ているという意味をもつ。

(38) 「要」 西(ニ・1・2・3の点)と女(フ・1・3・4・6の点)で表す。字式は西※/女。音読みのヨウは漢・呉音。訓読みに「もとめる」。

熟語に「要求」「概要」「要領」「要因」「肝要」「必要」「重要」「需要」「主要」「枢要」「強要」「要害」「要塞」「要旨」「要約」など。

・ 「票」 西(ニ・1・2・3の点)と示(1・2・3の点)「と票をパーツとして含む文字」

(39) 「票」 西(ニ・1・2・3の点)と示(ノ・1・2・3・4の点)で表す。字式は西※/示。音読みのヒョウは漢・呉音。訓読みに「ふだ」。熟語に「原票」「伝票」「帳票」「集票」「開票」「得票」「白票」「満票」など。

(40) 「標」 木偏(キ・1・2・6の点)と票(ニ・1・2・3の点)で表す。字式は木+票。音読みのヒョウは漢・呉音。訓読みに「しるし、しめ」。熟語に「標準」「指標」「座標」「標本」「標(表)札」「道標(どうひょう、みちしるべ、みちしるし)」「標(注連)縄(しめなわ)」など。

平成22年度 第7回(第43回) 報告

1 日時 平成22年11月20日(土)

18時30分〜20時30分

2 場所 ヒューマンプラザ7階 第1会議室

3 出席者(省略)

4 使用教材 「漢点字講習用テキスト 初級編

第四回(全十回) 漢点字編、墨字編

5 学習会内容

今回は前2回の復習としたため、ご報告は割愛します。

左に『人名字解』（白川静著、平凡社、二〇〇四年）のまえがきをご紹介します。同書は、現在本会で漢点字訳し、横浜市中央図書館に納入を予定しています。ご精読下さい。

訳書紹介 『人名字解』

まえがき

わが国の文字政策は、敗戦の結果、占領軍の厳しい指導のもとに、一九四六（昭和二一）年に「当用漢字表」が発表され、当用漢字一八五〇字の音・訓を定め、その範囲で使用されることとなった。内閣告示として定められたものであるから、これらは当然公的文書の全般に及ぶべきものであったが、ただ地名・人名等の固有名詞については、別に考えたとされた。しかし、一九四七（昭和二二）年に改正された戸籍法では、人名に使用する漢字を当用漢字の範囲に制限した。

やがて人名漢字を当用漢字だけに制限することに対する批判の動きを受け、国語審議会の審議を経て、一九五一（昭和二六）年、内閣告示として「人名用漢字別表」が公布された。これによって当用漢字以外の九二字を人名用漢字として、人名に使用することが認められた。その後、人名用漢字の問題は国語の問題にか

かわるものであるが、戸籍法等の民事行政との結びつきが強いものであるとして、国語審議会の作業と分離し、その扱いは法務省の管轄とされた。

人名用漢字の数は次第に増加し、二〇〇四年九月の六九三字の追加によって、現在九八三字になっている。一方、一九八一（昭和五六）年、「当用漢字表」に代わって「常用漢字表」が内閣告示として発表され、常用漢字の数は一九四五字になった。この常用漢字と人名用漢字を合わせた二九二八字が人名に使用することのできる漢字である。

常用漢字と人名用漢字とが人名として並用されることになる、それぞれの表に規定されているその用法上の相違が、また新しい混乱を生ずることになる。それは「常用漢字表」には各字について音・訓の使用法が規定されているからである。その表には、たとえば雅には「まさ」の訓がなく、「ガ」の音だけであり、「ハク、バク」の音がある博には「ひろ」の訓がない。人名としてはその訓を用いることは普通の用法である。また一方、人名用漢字にはその全体に音・訓の定めがない。どのような音・訓を与えても違法とはいえないことになる。また、二〇〇四年に法務省令によって追加された人名用漢字の中には、字形の上で従来の人名用漢字や常用漢字と不統一のものがみられる。このような問題は、常用漢字と人名用漢字の両者をより高次の立場から統一し、その音・訓に歴史的な使

用法をひろく容認し、本来の字形を尊重する方向で字形の整理を行う以外に解決の道はないように思われる。

いま人名用漢字についてのこのような問題点を考慮し、その文字の原義をたどり、慣用の歴史を考え、好悪を知る上に参考となる資料を提供することにした。人名は、その与えられた子どもの人格形成の上に、この上ない大きな影響を与えるものである。親として子どもの幸福を願わぬものはないが、その名を選ぶに当たって、その文字について一応の知識をもたれることが望ましい。それで、人名用漢字の従来用いられている一般的な音・訓の用法について、標準的な知識を提供したいと考えて、この書を編集した。参考にしていただくならば、この上ない喜びである。

なお、人名用漢字のうちには、常用漢字の旧字形が一部含まれるが、それらの字の解説と用例については既刊の「常用字解」をみていただきたい。

本書の作成に当たっては、およそ半数の字の解説を白川静が担当執筆し、残りの字の解説文の執筆と細部にわたる編集は津崎幸博がこれを担当した。校正は津崎史も担当した。

平成十七年十二月

白川 静

「報告と」案内

一 横浜市長表彰

前号でもご報告致しましたように、本会・横浜漢字羽化の会は、この度横浜市長表彰を受けました。

本会の発足は一九九六年、来年の一月で十六年目に入ります。今回の表彰も、長年に渡り活動にご参加下さり、ご尽力下さっている会員の皆様、並びに活動へのご理解・ご支援いただいております皆様のお力の賜と、心より御礼申し上げます。

発足当初は、点字に漢字の体系の存在することどころか、現在使用されている日本語の点字がカナ体系だけであることすらも、一般には知られていませんでした。さらに「視覚障害者には漢字を理解するのは無理だ」という常識（現在も視覚障害者の周辺の人々には、固く信じられている常識）に、堅固なバリアを感じたものでした。

この十五年という年月は、思えば長くもあり、ほとんど束の間のようにも感じるものです。振り返れば決して楽な活動ではなかったはずですが、しかし私どもにとつてこの活動から得たものは、計り知れないものがあります。漢点字を習得しただけでは得られなかったもの、それまでには存在しなかった質の読書の機会



が、手の届くところに出現したのでした。この活動がなければ、漢点字を習得しただけで、カナ体系の点字書が音訳書、それも希望書ではなく点字図書館が製作するお仕着せの本を、漢点字を学んだ経験を頼りに、頭の中で漢字に変換するという、手探りの読書に終始しなければなりません。実際、活動以前はそのようにしていました。文章の中で文字がどのように働いているか、生きた文字に接する機会が閉ざされていたのでした。

漢字体系の点字である漢点字は、この十五年の間に、広く知られるようになりました。点字で漢字が表せることも、視覚に障害があっても漢字の理解には障害はないことも、一般の理解を得つつあります。

しかし「邯鄲の夢」ではありませんが、当事者である視覚障害者や視覚障害者の周辺の晴眼者は、この漢点字を緘黙して、ないものと扱っています。試しにお近くの点字図書館か盲学校へ行つて、漢点字についての考えをお尋ねになると分かります。まず何も応えてくれないでしょう。それは、十五年以前とほとんど変わるどころがありません。

このような中、市長表彰をいただけたということ、一つの弾みになる可能性を示していると感じたいものです。引き続きのご支援をお願いして、御礼とさせていただきます。

二 『人名字解』の漢点字版、近く完成

今年度、横浜市中央図書館に納入を予定しております

す、『人名字解』（白川静著、平凡社、二〇〇四年）の漢点字版の完成が近づきました。詳細は次号でご報告致します。

三 東京漢点字羽化の会、会員募集

この十一月に予定していた会員募集の講習会が、募集広告が掲載のために、延期を止むなくされていましたが、再度計画することになりました。
日程…2011年2月09・23、3月09(水)

会場…港区ヒューマンプラザ7F、竹芝小ホール
申し込み…往復はがきで、
〒108-0073 東京都港区三田2-17-45

菅野良之

締め切り…2011年1月20日

問い合わせ…岡田健嗣(03-3614-9750)

四 横浜漢点字羽化の会

横浜漢点字羽化の会では、この9月・10月にかけて、会員の募集のための講習会を行いました。

無事終了して、新しい会員の皆様には、活動にご参加いただいております。末永くお付き合いただきませうようお願い申し上げます。

会員の皆様のお力で、講習会を終えることができました。大変ありがとうございました。

漢文のページ

杜子春 (三)

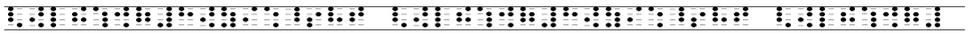
数年、恩情甚篤。生一
 男。僅二歳、聡慧。無敵。
 盧抱兒、与之。言不応。
 多方引之、終無辞。盧
 大怒曰、「大丈夫為妻
 所鄙。安用其子」。乃持
 兩足、以頭撲於石上、
 応レ手而碎、血濺ニ数歩。
 子春愛生于心、忽忘
 其約、不覺失声云、
 「噫」。

芥川龍之介の「杜子春」と異なり、唐代の原作では、いかなる苦難にも耐えて声をたてない杜子春は殺され、ある家の娘に生まれ変わる。美しく成長した子春は、口がきけなくともかまわないからと、同郷の盧珪(るけい)に望まれて結婚した。

数年、恩情甚だ篤し。一男を生む。僅か二歳にして、聡慧なること敵無し。盧児を抱き、之れと言うも応えず。多方之を引くも、終に辞無し。盧大いに怒りて曰わく、「大丈夫の鄙しむ所と為る。安くんぞ其の子を用いん」。

乃ち兩足を持して、頭を以て石上に撲てば、手に応じて碎け、血数歩に濺ぐ。子春の愛心に生じ、忽ち其の約を忘れ、覺えず声を失して云う、「噫」。





数年、恩情甚ダ篤シ。生ム

一男ヲ。僅カニ二歳ニシテ、聡慧

ナルコト無シ敵。盧抱キ兒

ヲ、与之レ言フモ不応ヘ。多

方引クモ之ヲ、終ニ無シ辞。

盧大イニ怒リテ曰ハク、「大丈夫

為ル妻ノ所ト鄙シム。安

クンゾ用ヒン其ノ子ヲ」。乃

チ持シテ両足ヲ、以テ頭

ヲ撲テバ於石上ニ、応ジテ

手ニ而碎ケ、血濺グ数歩

ニ。子春ノ愛生ジ于心ニ、

忽チ忘レ其ノ約ヲ、不覺

エ失シテ声ヲ云フ、「噫」。

参照図書：岩波ジュニア新書
「漢文の読みかた」（奥平卓）



漢点字講習用テキスト

初級編 第二十三回

4 基本文字 (3) … 比較文字

※「東・西・南・北」

(17) 東  トウ ひがし あずま

東の方から朝日が昇って、木の間を通して高い樹木を影にして見えている形を象った文字と言われます。「ひがし」は、日の出る方角を言います。「あずま」と読んで、未開の地を意味して、我が国では、平安時代から、関東地方をそう呼んでいました。漢点字では、「」で表されます。

「東京」「東海道」「東山道」「東亜」「関東」「東の方」「東下り」

(18) 西  セイ サイ にし

籠状の鳥の巣を象った文字と言われます。鳥が日暮れに巣へ帰ることから、日暮れに日の落ちる方角、つまり「にし」を意味するようになったと言われます。「にし」は、仏教が伝来した方角であることから、浄土のある方とされています。また現在では、欧米の西欧諸国を、「西洋」と呼んで、中国や日本を「東洋」として相対して捕らえるようになりました。我が国では、「関西」と呼んで、箱根山の東の関東に対して、近畿地方を中心とした地域を指しています。漢点字では、「」で表されます。

「西洋」「西方浄土」「関西」「西の方」「西日」

(19) 南  ナン みなみ

南向きの建物を象った文字と言われます。南に開いた建物で、暖気を取り入れることを表しています。「みなみ」は、日の差す方、暖かい方、作物の実り豊かな方の意味があります。北半球、特に北方の地域では、建物に暖気を取り入れる工夫が欠かせませんでした。漢点字では、「」で表されます。

「南方」「南海道」「南極」「東南亜細亜」「南十字星」

(20) 北  ホク きた そむく

二人の人が背を向けている姿を象った文字です。そこから寒い、背を向けたくなる方角、つまり「きた」を意味するようになりました。また、背を向け合っている姿から、「そむく」の意味も生じました。漢点字では、「」で表されます。

「北方」「北面」「北極」「北斗七星」「南船北馬」「敗北」



※「鶴」と「亀」

(21) 鶴  カク つる

冬、シベリアから我が国へやって来る、渡り鳥の“つる”です。頸と足が長く、胴体は概ね白い色です。「亀 」とともに、古くからめでたい動物とされています。『万葉集』では、“たず”と呼ばれていました。また、長身瘦躯の老人のたとえにも用いられます。漢点字では、「」で表されます。

「鶴の一声」

(22) 亀  キ かめ

動物の“かめ”を象った文字です。鶴と一対をなして、めでたい動物とされています。堅く丈夫な甲羅に包まれていて、長寿の象徴とされています。古く中国では、甲羅を火に翳して、吉凶を占いました。漢点字では、「」で表されます。

「亀裂」「亀甲」「鶴と亀」

※「互」と「皆」

(23) 互  ゴ たが-い

二つのものが噛み合っている形を象った文字です。“たがい”と読んで、うまく噛み合っていること、協力し合うことを意味しています。漢点字では、「」で表されます。

「互惠」「互換性」「互角」「互助会」「相互」「交互」「相身互い」

(24) 皆  カイ みな みんな

この文字は〈比較文字〉ではありません。漢点字の字形が、〈比較文字〉と同じになりましたので、このように整理してみました。「比 」の下に「白 」（このテキストには、まだ登場していません）の形の文字です。従って字形が「」となりました。上の「比 」は、人が並んでいる様子を表しています。多くの人と一緒に協力して行う、力を合わせるという意味から、“みな”の読みが生まれました。漢点字では、「（比）」と「（白）」で表されます。

「皆無」「皆勤手当」「皆既日食」

※「凸」と「凹」

(25) 凸  トツ

ものが突き出した形を象った文字です。漢点字では、「」で表されます。

「凸面体」「凸レンズ」

(26) 凹  オウ へこ-む

ものがへこんだ形を象った文字です。漢点字では、「」で表されます。

「凹面体」「凹凸」「凹レンズ」

編集後記

この間、(有)横浜トランスファ福祉サービス(以下トランスファ)の創業5周年記念パーティーがJR関内駅前の居酒屋で開催され、それに羽化の会の2人の仲間と一緒に招待されました。集まったお仲間は、主としてガイドヘルパーの仕事をおられる方たちです。その中に最近この仲間に入られた沢井さんという方が隣に座られました。彼は私がお仕事をされていたそうですから、話が合います▼トランスファが仕事を始めて間もない頃、個々のガイドヘルパーの活動実績を集計するシステムを、私がアクセスを使って開発しました。そのシステムの使い勝手を十分に改良する余裕がないままに、いろいろな事情でそのままにしてそこから離れてしまいました▼その沢井さんがそれを更に改良されて、個々のガイドヘルパーが自分の携帯電話で活動データを送信すると、それが事務所のシステムに直接入力されるようにして下さいました。私の開発計画の中にもそういうことが入っていたのに、実現できなかったことがこうして実現し、以前作ったシステムが今でも十分に機能していることを知って、本当に嬉しくなりました。

(木下 和久)

(有) 横浜トランスファ福祉サービス

障害者自立支援法の下、障害者にガイドヘルパーを派遣して、外出を支援しています。対象は、横浜市在住・在宅の、視覚・肢体・知的重度障害者。

常時募集・ガイドヘルパー：資格・ホームヘルパー2級以上、および視覚・肢体障害者移動介護研修修了。

業務概要：上記障害者の外出支援。詳細は担当・柳田まで。



〒231-0063横浜市中区花咲町1-46-1

GSプラザ桜木町1104

電話： 045-263-0306

FAX： 045-263-0316

E-MAIL (岡田健嗣) : okada_tr_eib@ybb.ne.jp

横浜漢字羽化の会 URL : <http://ukanokai.web.infoseek.co.jp>

《表紙絵 岡 稲子》 次回の発行は2月15日です。

※本誌(活字版・DAISY版・ディスク版)の無断転載は固くお断りします。